



雲の上のまち



広報

いかるが



謹んで新年のお祝いを申し上げます

昨年は大変お世話になり、ありがとうございます。本年もよろしく願っています。
令和八年 元旦

梶原町長 高橋 基文



2期8年にわたり梶原町のリーダーとしてご尽力いただきました吉田尚人町長がご勇退の意向を示され、後継者指名もなく町民の皆様は次期町長候補者がどうなるのかという戸惑いのもとに不安と期待が入り混じった月日が流れていきました。今の梶原町の財政状況や少子高齢化による人口減少、太郎川公園開発事業や木質バイオマス発電事業の着工など町を取り巻く環境は大変厳しい状況であることは住民の誰もが認識していたことでした。

私はこういう状況下において、今重要なことは町内の住民の皆様や役場、議会、各種団体が一枚岩になり、一本の希望の旗のもと、地域が繋がり、お互いを認め合い、協力し合うことこそが、今後の梶原町の未来を創り育てていくことだと考えるからだと話してきました。同じ志を持った方々よりの後押しをいただき、3回目の挑戦を決意し12月21日に町長として就任

させていただきました。結果を真摯に受け止め今以上に、町民の皆様とコミュニケーションをはかり住民一体となって創る新生梶原をめざしていく所存であります。

微力ではございますが、これまで歴代町長が町議会の皆さんをはじめとする町民の皆様とともに、全国を代表する取り組みを行ってこられたことに心から敬意と感謝を申し上げますと同時に、その功績を汚すことなく、皆様が幸福で希望を持つて暮らせるよう粉砕身努めてまいりますので町民の皆様におかれましては、ご指導とご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

議会議員を通算4期務めさせていただき、その間町内を何度も何度も巡回させていただきました。今回一般企業に勤めていたこともあり4年ぶりに町内を巡回させていただきましたが少子高齢化の波は思った以上に大きく空き家は増え、農地の荒廃は進み、それでも

住み慣れた土地を離れることなく最後までこの土地で「生ききりたい」と願う皆さんと握手した時の手のぬくもりを忘れてはならないとしつかりと心に刻みました。改めて町民の皆様一人ひとりがそれぞれ生きがいや幸福感を感じ、安心して安全に暮らし、最後まで「生ききる」ことができる町づくりに全力で取り組みたいと再認識いたしました。

命の道の整備や危険個所の解消、安定した飲料水の確保は安心して暮らすための基盤整備としてこれまで同様しっかりと取り組んでまいります。

梶原病院は、30周年をむかえました。各地では大型病院が経営困難になり閉鎖される状況下、梶原町においても人口減少の波の中、赤字経営がこれから見込まれる状態になっております。しかしながら僻地であるからこそ病院の存続は重要になってきます。病院だけではなく他の事業と組み合わせる経営が必要となると考えます。町民の皆様と知恵を出し合い、一般企業で培った経営感覚を十二分に発揮して存続に全力で取り組みます。

冒頭でも述べさせていただきましたが、脆弱な財政運営であることは変わりありません。健全な財政運営が基本であり、歴代町長や町議会の皆さんが築いてこられた中央省庁や国県とのパイプを強靱なものとしてつなぎ、財源確保に全身全霊で取り組む覚悟であります。

「町民一人ひとりが主役のまちづくり」を基本に様々な意見が出し合え、「町民の皆様と一緒に創る笑顔あふれる梶原」と言える町づくりにしっかりと取り組んでまいります。

これまで歴代町長にお寄せいただいたと同様にご高配を賜りますよう、心からお願い申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

梶原町役場

梶原町長 高橋 基文

副町長 西村 新一

外職員一同

監査委員 中越 拓平

土釜 清

明けましておめでとうございます

本年が皆様にとって佳き一年となりますことを心からお祈り申し上げます

令和八年 元旦

退任あいさつ

私こと、昨年12月20日をもって任期満了を迎え、梶原町長を退任いたしました。

平成29年12月、矢野富夫様の後任として就任以来2期8年間、梶原町政を担当させていただきました。

就任早々に不注意による怪我のため2か月間も入院し、職員をはじめ町民の皆様に変なご心配とご迷惑をおかけしたことや、コロナ禍など様々な出来事に直面しながらも、無事任期満了を迎えることができましたのもひとえに町民の皆様はもとより、梶原町未来大使や本町出身の皆様をはじめ、多くの皆様に温かく見守り、期待いただくなかでご理解とご協力を賜ったおかげであり、これまでのご厚情に心から感謝申し上げます。

私は、「町民の皆さん一人ひとりがそれぞれの生きがいや幸福感を感じながら、安心して安全に暮らせる町」づくりに取り組みさせていただきたいと申し上げ、町長として就任させていただきました。「子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷 梶原へ」を基本理念とし、「自信と誇りを持ち心豊かに暮らせる町」を目指し、教育

前梶原町長 吉田 尚人

の振興と産業の振興に取り組んでまいりました。

教育の振興では、一貫教育支援センターの充実を図ることができたことは喜びです。この町で生まれ育った子供たちや町外から梶原高校に来てくれた子供たちが、充実した学校生活を送りながら成長し、大きく羽ばたいてくれることを願っています。

そのために必要である給食センターの建て替えや梶原高校の寄宿舎として利用している生涯学習交流センター「ゆすゆす」も無事完成し、本年は増築を行っているところです。

産業振興の中心となるのが観光の産業化とそれを支える一次産業の振興です。観光事業の産業化をめざして太郎川公園の再生計画に取り組んできましたが、その核となる道の駅・ホテル・レストランの建設については、私の力不足で実現することができておりません。引き続き様々な議論の中でより良いものができることを願っております。

一次産業の振興では、森林づくりと特産品開発に力を入れてきました。本町の山林を生かすため、「森の文化創造推進課」を立ち上げ、「梶原令和の森づくり協議会（リモリ）」が発足し、若手林業家の研究グループ「コ

モリ」が生まれました。

また、地域おこし協力隊経験者によって「株式会社 キリカブ」が立ち上がり、積極的な事業展開が行われていること、四国部品株式会社に造林事業に進出したことは、大きな喜びであり、今後のご発展を心から期待しているところです。

特産品開発に向けては、集落活動センターを舞台にキジとアメゴの養殖を継続していただくことができました。畜産公社を核とした畜産振興も、厳しい状況の中で順調に発展しています。

また、雲の上観光協会では、観光客を呼び込むための情報の発信に加え、現在は梶原牛やジビエ、キジ、アメゴ、有機野菜などの生産者をつなぐ生産者協議会やワイン用ブドウの栽培管理に取り組んでいます。

こうした取組と並行して、起業しようとする方に支援を行ってきました。この事業を利用して新たな事業を起こしていただくことができました。

一方、四国カルストの風車の建て替えも無事完了することができました。さらに、数年来検討してきたペレットを使つての発電事業が国の脱炭素先行地域事業として選定され、現在工事が進んでいることは、「森林資源を生かし、住民の暮らしを支え」とともに、地球温暖化防止対策に貢献する「町として本町の価値を高め、魅力を高めることにつながる」と確信しています。

こうした事業に取り組んでいる道半ばではありますが、私は、自分の力不足を痛感し、この任期満了をもって退任させていただきました。今後は町民の一人として皆様のご恩に報いていきたいと考えております。

過日の町長選挙において高橋基文町長が誕生されました。民間企業での経験を活かし、経営感覚を持った町政運営を進めていただけることと期待しています。みなで協力し、よりよい梶原町になることを心から期待し、お礼の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



年頭のご挨拶

年頭にあたり、梶原町議会を代表して、
謹んで新年のご挨拶を申し上げます
令和八年 元旦

梶原町議会議長 市川 岩亀



さて、昨年を振り返りますと、
議会内では重要な組織改編、執
行体制の刷新、新たな仲間の加
入という重要な動きがありまし
た。

まず、昨年5月には、2つの
常任委員会を「まちづくり常任
委員会」の一常任委員会に改め、
町政課題に迅速かつ横断的に対
応する体制としました。

同じく5月には正副議長選挙
が執り行われ、議長には下元秀
俊氏、副議長に森田呂弥氏が選
出されました。その後、9月に
下元議長が辞職され、私は議員
各位の推挙をいただき、新たに
議長の重責を担うこととなりま
した。

そして、平成29年から2期8
年にわたってご活躍されました
吉田町長が、12月20日をもって
退任されたことに伴い、町長選

挙が行われ、高橋基文氏が当選
されました。今後の活躍を心か
らご期待申し上げます。

さらに町議会議員補欠選挙が
実施され、矢野明議員が新たな
仲間として加わりました。前任
者の功績を胸に刻み、森田副議
長、そして新しく加わった矢野
議員とともに、全議員が一丸と
なり議会運営に誠心誠意、邁進
する所存です。

新型コロナウイルスの影響が
和らいだ一方で、国際情勢の不
安定化や物価高騰は、生活や地
域経済に引き続き大きな影響を
与えております。こうした時代
背景の中、議会は町民目線を常
に意識し、町民の幸福度の向上
を最大の目標として活動してま
いりました。特に、昨年実施し
た議会懇談会では、「少子高齢化
による地域活動や産業の担い手

不足」について切実なご意見を
いただきました。これを喫緊の
課題と深く認識しております。

未来を担う子どもたちの教育
環境の整備、高齢者が健やかに
暮らせる福祉施策、そして、基
幹産業である農林業の持続的な
発展と魅力ある雇用創出は、引
き続き最重要課題です。

これらの課題克服に向け、議
員一同は執行部と活発かつ建設
的な協議を重ね具体的な解決策
を見出し、一つひとつ着実に実
行していく所存です。

結びに、地域の活力を維持し、
未来に繋げていくため、町民の
皆様におかれましても、引き続
き町政へのご理解と、地域活動
への積極的な御参加・御協力を
賜りますよう、心よりお願い申
し上げます。

本年が町民の皆様にとって、
そして梶原町にとって、希望に
満ちた、実り多き一年となりま
すよう心からお祈り申し上げます。
新年のご挨拶とさせていただきます。

梶原町議会

議長 市川 岩亀
副議長 森田 呂弥

議会運営委員会

委員長 土釜 清
副委員長 西川 慶男
委員 矢野 明、藤原 伸、来米 史、西川 豊正

まちづくり常任委員会

委員長 西川 豊正
副委員長 藤原 伸
委員 矢野 明、来米 史、森田 呂弥、土釜 清、市川 慶男、西川 慶男

議会広報編集委員会

委員長 来米 豊史
副委員長 西川 慶男
委員 矢野 明、藤原 伸、森田 呂弥、西川 豊正、土釜 清

明けましておめでとうございます

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます

令和八年 元旦

梶原町教育委員会 矢野 準也



社会全体が大きな変化の時を迎える中、地域に根ざした学びの深化や、ICTを活用した創造的な学習が求められております。本町では第7次梶原町総合振興計画で掲げる6つの目指す社会のうち「自信あふれる梶原人を育てる教育の確立した社会」の実現に向け、教育の充実に努めてまいります。

そして、未来を担う子どもたちが、自らの夢や目標に向かって自信をもって進んでいけるよう子どもたちの「自ら考え行動し、たくましく生き抜く力」を育むため、雲の上の町の豊かな自然と文化を生かした教育の充実に努めてまいります。

梶原こども園では、豊かな自然環境の中で、のびのびと体を動かし、豊かな感性と表現力を育む教育を実践しています。近隣の梶原高校生との田植えやお茶摘み体験、梶原学園との連携事業の実施、地域の方々のご協力を得て、本町ならではの地域ぐるみの幼児教育が展開されています。さらに昨年4月からは生後6か月児の受け入れを開始し、多様化する子育てニーズに対応し環境整備も進めてまいりました。

梶原学園では、一人一台整備されたタブレット端末を活用し個々の関

心に応じた教材による学習を行っています。また、オンラインを通じた西宮市立中学校との交流では協働的な学びを通して視野を広げ、梶原の価値を再発見する機会となりました。中学生の海外研修では、カナダ・オーストラリアに5名の生徒が参加し、ホストファミリーの温かい受入れのもと、英語で伝える経験や、他校の参加者とともに授業だけでなくスポーツや活動を通じた異文化交流が図られ、国内外の生徒と積極的に関わることができ貴重な体験を重ねました。また、安心して過ごせる学びの場を確保するため、児童生徒が自分のクラスには入れない時や少し気持ちを落ち着かせたい時に利用できる校内サポータールームを設置し、相談対応や学習支援を行っています。

一貫教育支援センターでは、0歳から18歳までの一貫した教育の中でも特に重要とされる発達期の子どもたちが幼児期の育ちや学びをスムーズに小学校へつないでいくため、令和6年度に架け橋期プログラムを策定し、本年度からは具体的なカリキュラムの実践に着手しました。また、昨年10月には同センター主催により3回目となる梶原町子ども未来議会を開催し、梶原学園・梶原高等学校

の児童生徒が議員となり、日頃の生活の中で抱く疑問や課題について町執行部へ真剣に質問しました。将来の地域の担い手である子どもたちが、町の在り方や未来像について考え、将来の有権者として町づくりに関心を持つ意義を改めて感じる機会となりました。

また、ご協力いただきました町民の皆様は、改めて感謝申し上げます。文化活動では、梶原高校の「梶原ディスカバークラブ」が雲の上の神楽大会に初めて出演したほか、伝統芸能の継承に取り組む活動が評価され高知県文教協会賞を受賞しました。今後も、心身ともに健康をめざすスポーツの推進、芸術・文化の振興、各種社会教育団体への支援を継続してまいります。

生涯学習におきましては、雲の上の図書館が昨年5月で開館7周年を迎えました。この間、様々なイベントを通じて、日頃あまり本に親しみのない町民の皆様にも足を運んでいただけるよう、身近な図書館づくりに努めてまいりました。本年も町民の皆様の「学びの場」「憩いの場」「文化の継承・創造・発信の場」となるよう、サービスのさらなる充実を図ってまいります。

本町には、この地域ならではの特色ある取組が数多くあります。教育委員会といたしましても、多方面の力を結集し、各種団体の活動を支援しながら取組を進めてまいりますので、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、町外から梶原高等学校を選んで入学してくれた生徒が安心して生活し学べる環境を整えるため、生涯学習交流センター2号棟の増築が3月末の完成に向けて進んでいます。

本年が、皆様にとりまして幸多き一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

梶原町教育委員会

教 育 長	矢野 準也
教育長職務代理	樋口 益也
教 育 委 員	吉富 文
教 育 委 員	森山 美幸

謹んで新年のお慶びを申し上げます

輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます
本年もよろしくお願い申し上げます
令和八年 元旦

高幡消防組合 梶原消防団 団長 森田 耕一



地域の皆様には、平素より我々消防団、少年消防クラブそして幼年消防クラブに暖かいご支援、ご協力をいただきまして、衷心より厚くお礼申し上げます。また、団員の皆様には火災をはじめ各種の災害から地域の安心・安全を守るため昼夜を問わず献身的にご尽力いただき感謝申し上げます。

昨年も各地で、地震・台風・大雨等による自然災害が後を絶たず、各地で甚大な被害をもたらし、土砂崩れや浸水などの多大な人的物的被害が多く発生しました。また、全国各地で林野火災が多発し大規模な火災が多く発生しました。11月には大分県においても大規模な火災が発生しました。

昨年は、1月から3月までで4件の建物火災が発生し、10月

には町内の産業廃棄物処理場の火災もあり、多くの火災が発生した年となりました。

昨年の消防団の活動としましては、2月9日に、連日の積雪のため、出初式をゆすはら・夢・未来館にて開催しました。

4月6日には入団式を行い、6名の新入団員と以前より梶原消防団女性消防隊として活動しておりました11名が団員となり計17名と新たに幹部となった団員及び新入団員に対し辞令交付を行いました。

4月24日には、高知県消防大会が高知県立県民文化ホールで開催されました。団員や団員の配偶者の中から「消防庁長官表彰永年勤続功労章」1名、「高知県知事消防団員配偶者功労感謝状」4名が受賞された事は誠に喜ばしいことであります。

7月6日には大越グラウンドにて連合演習を行い、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し素晴らしい操法を行いました。

10月12日には津野町B&Gにおいて高陵消防連合演習が開催されました。この演習において教練の部・小型ポンプ操法の部・自動車ポンプ操法の部で梶原消防団が優勝を収めました。小型ポンプ操法及び自動車ポンプ操法で優勝した梶原消防団は6月に高知県消防学校で開催される高知県消防操法大会に出場します。

本年も梶原消防団員一同、町民の皆様の生命及び財産を災害から守り、安全で安心して暮らせる町づくりのために努めてまいります。一層のご支援ご指導をいただきますよう心からお願ひ申し上げます。どうか、この1年が無火災と無災害でありますと共に町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

高幡消防組合 梶原消防団

団 長	森田 耕一
副 団 長	川上 博史
副 団 長	山本 浩辰
第一分団分団長	中平 孝一
第二分団分団長	中岡 紳二
第三分団分団長	西村 信明
第四分団分団長	高橋 正知
第五分団分団長	沖田 謙三
本 部	本部長 中越 泰三
本部付女性部部长	川上 まゆみ



謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は組合事業推進につきまして
ご支援ご協力を賜りましたことに、深く感謝を申し上げます
令和八年 元旦

梶原町森林組合 代表理事組合長 森山 真二



昨年を振り返りますと、森林組合の経営活動において、これまでの市場経済の中で大きな選択をしなければなら

ない状況向かえ、同時にきわめて厳しい経営状況であることにつきまして、組合員の皆様や行政・町議会、そして関係団体等の皆様方には大変なご心配やご迷惑をおかけした1年でありました。とりわけ総代会で報告をしました決算内容につきましては、これまでに経験したことのない赤字を計上しました。ウッドショック以降の様々な社会情勢の変化に伴い、事業価格における価格転嫁が充分に行えない中で、経営判断の遅れや、加工事業での棚卸額の減額及び取引先の倒産による貸倒引当金の計上といった要因も重なり、全部門において事業総利益が事業管理費以上に稼げなかったことがその原因でした。

今期は理事全員による経営改革検討委員会での協議を重ね、上半期を経過した中で、まず加工部門における乾燥業務を一部休止させました。この時点で受注している邸別物件や公共事業における町産材の注文材についての供給準備がほぼ完了していたことにより、経営方針の見直しを図りました。下半期については大きな物件の受注もないことから、グリーンの製材や大曲材に

よる製紙用のチップ製造販売に切り替えて、経営の改善を図るべく業務を行ってまいりました。

そのような中、6月20日に新聞報道にもなりましたリングバーカー施設で火災が発生し、粉砕機並びにベルトコンベヤー・パークヤードを焼損させる事態を起こし、皆様には多大なご心配やご迷惑をおかけしました。そして何よりこの火災については梶原高校野球部生徒の皆さんの迅速な通報のおかげで早期に鎮火し、最小限の被害でとどめることができました。野球部の皆様・消防団・関係者の皆様には深くお礼を申し上げます。その後の原因究明や再発防止についても協議検討を行い、再発防止の火災予防に向けた日々点検清掃に努めています。

令和7年度の組合事業につきまして、日本経済での物価高や賃金の上昇、そして担い手不足が経済活動に大きく影響する中、それに伴うインフラ経費の高止まり状況が依然と続き、その一方で販売市場は価格の低迷が続き、製品販売については不調な一年でありました。

しかし原木生産においては一定の生産販売ができ、バイオマス発電事業に伴うペレット増産に向けた原材料供給も町内外の個人や素材生産事業者等の

皆様の協力により、未利用材の出材が順調に推移し原材料を確保することができました。

また加工事業におきましては、先の状況の下、業務を一部休止する中で、経営改革検討委員会や理事会協議を重ね、町の新たな執行部や議会等の助言もいただきながら経営方針について検討を行ってまいります。

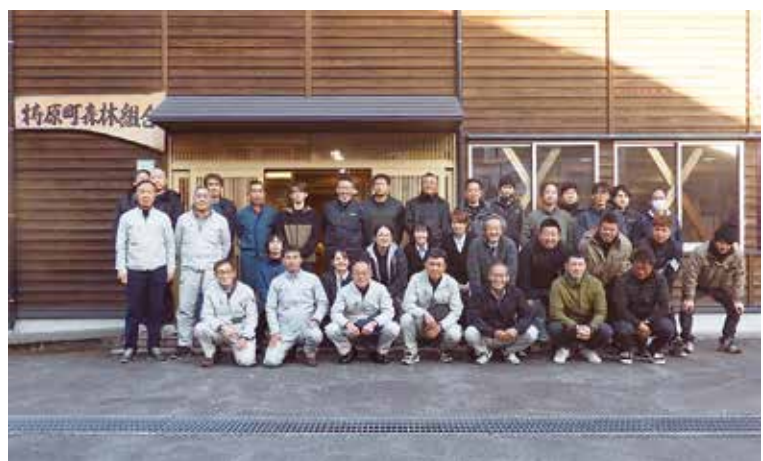
今後はさらなる自然環境に配慮した森林整備の継続や持続可能な循環型林業の経営を目指した安定的な事業の導入、そしてこれまでのFSC森林認証をベースにした新たな利用事業の模索に努めてまいります。

令和8年度においても、新町長による執行部との連携を図り、広く社会に理解かつ信頼され求められる森林組合として、伐つて・使つて・植えて・育てる循環事業として森林を管理し、意欲と能力のある経営事業体としての責務を果たし、ゆすはらの森林づくりの一端を担っていく所存であります。

そして、いよいよスタートをいたします脱炭素先行地域推進事業による木質バイオマス発電事業におきましても、ゆすはらペレット㈱への安定的な原材料供給を行い、安心安全な運営体制のもと、これまで以上に事業推進してまいります。

本年度も、引き続き厳しい状況が予想されますが、役職員一致結束して事業を推進してまいります。組合員を始め関係機関皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに皆様のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。



梶原町森林組合

代表理事組合長

代表理事

森山 真二
上田 和弘
久岡 國雄
岩本 直也
中越 雅哉
下村 尚希
山本 浩辰
中平 俊一
片岡 幸作
外職員一同

新年おめでとうございます

本年が皆様にとりまして、輝かしい一年でありますようお祈り申し上げます
令和八年 元旦

梶原町商工会会長 長山 和幸



我が国経済は、長期的な停滞から脱し、本格的な成長型経済への転換期にある一方、歴史的な円安や原材料価格の高止まり、最低賃金引き上げへの対応など、地域の中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

また本町においても、長く続く人口減少、少子・高齢化は歯止めがきかず経営者の高齢化も伴い、店舗の閉店など大変厳しい状況です。

このような情勢の中、商工会は行政や関係機関と連携を図りながら、資金繰りをはじめ、生産性向上、防災・減災対策、さらにはデジタル化対応や人材確保等、地域の実情に応じ多岐にわたる支援を進めています。特に商工会は地域における起業・創業の支援拠点として、地域内外の人材が安心して挑戦できる環境づくりを進めており、若者や移住者の起業促進、地域資源を生かした新規ビジネスの創出を積極的に後押ししています。

また、高齢化・地域経済の縮小が

進む地域においては、地域に根差した事業の継続と雇用の確保を図る役割を担うなど、商工会の活動は経営支援にとどまらず、地域社会の担い手づくりや次世代の育成に繋がるものであり、地方創生の実現に向けた中核的な担い手として商工会への期待は益々高まっております。

今後、中小企業・小規模事業者が、急速に進展するデジタル化やグリーン・トランスフォーメーションなど、新たな環境変化に適応しつつ競争力を高めていくためには、商工会による細かな伴走型支援、地域密着型の支援体制の更なる強化が不可欠であります。

そして商工会のもう一つの柱である、各種イベントやそれぞれの地域振興事業に全力で取り組んでまいります。事業者はもとより、家族一人ひとりが地域の担い手であり、地域の持続的発展における中心的な役割も担っています。

地域経済の衰退は経済だけにとどまらず、福祉や子育て教育環境につながる大変大きな課題です。

様々な課題が山積していますが事業者のため、本町のためにも商工会が地域唯一の総合経済団体としてしっかりと役割を果たし、未来につながる地域社会の実現に向けて役職員一人ひとりが自覚と責任を持ち、不断の組織力強化と支援力向上に努めていく覚悟であります。

商工振興協同組合では、温泉・プール・市場・マルシェ、カルスト会や学園での給食事業を受託しています。人手不足の中、現在5ヶ国、12名の外国人の方に就業してもらっています。遠く外国より来ています。ぜひ温かい目で見守っていただきたいと思っております。

新町長も決まり、新しいホテルに關しても議論が進んでまいります。ぜひとも町益に資するホテル計画になつてほしいと願っています。

商工会は「事業所あつての商工会」であり、その基本理念を今一度中心に、販売人が働ける環境づくりに行政と共にしっかりと取り組み、本町が希望の持てる町になるよう役職員一同、全力を挙げてまいります。

ただ、商工会だけでできることは限界がございます。どうか地域の皆様をはじめ、多くの人々のご指導・ご理解・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

幸せいつぱいの年になりますように。

梶原町商工会

会長

副会長

理事

監事

長山 和幸

西岡 利晃

中越 哲臣

川上 周一

下元 正八

西川 陽子

近藤 律子

長山 亀一郎

中山 博行

安井 謙二

山本 浩辰

中越 貞幸

上川 健一

神明 啓太

戸梶 匠美

中村 俊夫

千光寺 俊和

他職員一同

神明司氏

瑞宝単光章の榮譽に輝く

12月5日秋の叙勲において、梶原消防団前第2分団分団長の神明司氏が瑞宝単光章を受章されました。

神明氏は昭和60年4月に梶原消防団団員を拝命以来、令和6年3月末日に退団するまでの39年余りの長きにわたり、消防使命の重要性を深く認識し、災害発生にあつては率先垂範して防火防災の任に当たり、被害軽減に力を発揮されました。

教育訓練の重要性を認識し、機械器具点検整備はもとより、機械器具操作の習熟、防火意識の高揚・団員資質強化を図るため、常日頃からの訓練を率先するなど、梶原消防団の発展に寄与された功績は多大であり、他の模範となりました。今回の受章は、こうした長年の梶原消防団第2分団幹部として豊富な経験と卓越した職見、指導力、行動力をもって町民の方々の生命財産を守る消防精神の向上に貢献された功績が評価されたものです。

● 神明司氏の略歴

昭和60年	梶原消防団	団員
平成7年	同	班長
平成15年	同	部長
平成27年	同	副分団長
平成31年	同	分団長



高幡消防津野山分署



志手功氏

令和7年度 秋季善行表彰受賞

梶原町青少年育成センター少年指導員を務めていた、志手功氏が、令和7年度秋季善行表彰を受賞されました。

この表彰は、日本全国で行われている様々な善行活動について称えるもので、志手氏は青少年指導の部で表彰されました。

志手氏は、平成17年度から令和6年度までの19年間にわたり、少年指導員を務められ、登校する児童・生徒一人ひとりに声掛けを行い、子どもたちの安全を守ってこられました。

また、高知県内の中部地区少年補導育成センター連絡協議会や一斉補導への参加など、他の地域の少年指導を行っている関係者と情報共有を図りながら活動されました。

平成19年からは、梶原町の保護司として活躍され、保護司会の研修により、非行や立ち直りに関する知識を習得され、その知識を生かしながら青少年の見守りを継続的に行ってこられました。

このように、子どもたちのために様々な役割を持ちながら、長年に渡って活動されており、青少年の育成・保護に大きく貢献されてこられました。

雲の上の図書館において、矢野教育長より表彰状の伝達が行われました。今後も、梶原町の子どもの見守りにお力を貸していただきたいと思います。



生涯学習課



各種団体・機関等 ※順不同

梶原町区長会

会長(四万川区) 空岡 則明
 副会長(松原区) 松山 榮喜
 区長(越知面区) 川上 寿久
 (西区) 中岡 廣年
 (東区) 西村 茂則
 (初瀬区) 氏原 昇佐

梶原町農業委員会

会長 中平 紀善
 会長職務代理 上田 和弘
 委員 谷川 恵美
 中岡 勝寿
 押川 収一

農地利用最適化推進委員

高橋 亀一郎
 岡林 健勝
 久岡 健市
 中平 勝也
 川上 厚志

梶原町民生委員・児童委員協議会

会長 山口 眞知子
 副会長 家森 裕二
 監事 武正 眞智子
 西村 正義
 久岡 健市

運営委員

委員

黒瀬 多津子
 片岡 志保
 川上 まゆみ
 白石 さかえ
 中越 優子
 西村 斗代美
 下村 道子
 村田 貴代子
 片岡 志保
 田邊 みどり

主任児童委員

梶原町選挙管理委員会

委員長 中岡 倫
 委員長職務代理 中越 信也
 委員 中平 則一
 大崎 和江

高幡消防組合津野山分署

分署長 森野 義博
 副分署長 横田 圭祐
 坂本 雅文
 外消防職員 一同

梶原町交通安全町民会議

会長 高橋 基文
 副会長 市川 岩亀
 理事 長谷部 悟
 山中 照亞
 岡田 量
 中東 一夫
 西森 峰雄
 伊藤 祐一
 田所 祐人
 上川 渉
 中越 靖
 河野 純雄
 矢野 敬明

(交通安全母の会) 監事

交通安全指導員

社会福祉法人カルスト会

理事長

熊岡 健
 空岡 則明
 岡田 量
 岩崎 悦子
 掛橋 健一郎
 川上 博明
 西村 建雄
 下村 昌彦

梶原町魚族保護会

会長 氏原 昇佐
 副会長 山中 照亞
 竹倉 茂一
 上田 末喜
 市川 辰壽
 木原 正利
 石川 清利
 上川 雄康
 岡林 勝
 宮本 幸藏
 松山 虎光
 吉村 光義
 藤原 伸
 來米 豊史
 川上 博明

行政相談委員

梶原町人権擁護委員

代表委員

委員

中越 靖
 吉富 文
 中越 あかね

梶原町保護司会

委員長

志手 功
 市川 吉朗
 松山 榮喜
 氏原 昇佐
 下元 秀俊
 森田 呂弥

身体障害者相談員

知的障害者相談員

梶原町衛生組織連合会

会長 久岡 俊彦
 副会長 市川 辰壽
 委員 中岡 倫
 宮本 千恵子
 川上 源伸

健康文化の里づくり推進員

14期生会長

梶原町手をつなぐ親の会

会長

高橋 正知

梶原町身体障害者連盟

会長

宮本 友和

梶原町戦没者遺族会

副会長

中越 計清

監事

川上 寿久

青年部長

〃

川上 光章
 氏原 昇佐

梶原町環境美化推進組合

組合長

副組合長兼会計

川村 善雄
 田所 祐人
 岡村 聖司
 神明 靖
 若宮 康秀
 志手 功
 岡林 勝
 石川 昇
 友川 良子
 西岡 利晃
 中越 誠

監事

〃

中越 誠

梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会

会長

西川 陽子
 玉川 太得子
 上田 知子
 木谷 恵
 神明 峰代
 永尾 祐子
 西添 豊
 山本 智也
 西村 信明
 家森 裕二
 河野 純雄
 久岡 松美
 中越 郁子
 西岡 利晃
 若宮 康秀





【主な活動】

- 高齢者の見守りや訪問
- 福祉サービス制度や相談窓口の案内
- 日常的な支援に関する相談
- 生活に困ったときの支援窓口を紹介
- 妊娠中から子育ての相談など

保健福祉課

令和7年12月1日から、各区の民生委員児童委員及び主任児童委員が着任しましたのでお知らせします。

民生委員児童委員及び主任児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で任期は3年間です。

住民の皆さんが安心して暮らせるよう、生活や福祉全般に関する相談や支援活動を行っており、相談内容に応じて関係機関へつなぐ役割を果たしています。

また、主任児童委員は子どもと子育て家庭への支援を専門的に担当します。

委員には守秘義務が課せられており、相談内容や個人情報を守られますので安心してご相談ください。

民生委員児童委員及び主任児童委員について

令和7年度 一斉改選に伴う民生委員児童委員・主任児童委員名簿

任期：令和7年12月1日～令和10年11月30日

民生委員児童委員

地区		氏名	住所	電話番号	担当部落
越知面区		黒瀬多津子	下本村	68-0203	横貝、太田戸、上本村、下本村
	新	川上まゆみ	田野々	IPのみ 68-0234	井の谷、永野、田野々
四万川区		白石さかえ	東 川	67-0134	下組、東川、上組、中の川、本も谷、茶や谷、富永
		山口真知子	文 丸	67-0836	井高、坪の田、文丸、神の山、坂本川、六丁、東向
東 区		西村 正義	仲 洞	65-0521	後別当、大蔵谷、太郎川、神在居、仲洞
		武正眞智子	川西路	65-1255	町組全部、川西路
	新	中越 優子	川 井	65-0806	飯母、豊原、川井、川口
西 区		家森 裕二	下西の川	090-4504-0376	仲間、上西の川、下西の川、竹の藪
		西村斗代美	上 成	67-0528	広野、宮野々、上成、松谷
初瀬区	新	下村 道子	仲久保	IPのみ 65-0834	上折渡、下折渡、影野地、大野地、佐渡、初瀬本村、仲久保
松原区		村田貴代子	大 向	66-0215	大向、中平
		久岡 健市	松 原	66-0173	松原、久保谷、島中

主任児童委員名簿

町内全域		片岡 志保	大蔵谷	65-0662
		田邊みどり	川 井	65-0807

梶原町のいろいろなサイトをご紹介します

ゆすはら散歩

ゆすはら雲の上観光協会
Instagram



梶原町公式ホームページ
<https://www.town.yusu-hara.lg.jp/>



奥四万十時間
Instagram



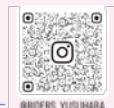
四国カルスト広域連携推進協議会
Instagram



ゆすはらキャンプ場
Instagram



ライダーズイン雲の上
Instagram



わが町の人びと

世帯数
1,668 (11月末)

人口
3,018 (11月末)



雲の上の図書館だより



YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は雲の上の図書館をご利用いただき誠にありがとうございました。今年も、皆様の生活の中に図書館を役立てていただけるよう、職員一同精一杯努めてまいります。お探しの資料のご相談や、雲の上の図書館でやってみたいこと等お気軽にお声がけください。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

走って、負けて、愛されて。

『ハルウララ物語』

著者：重松 清

デビュー以来ずっと負け続けた馬がいる。高知競馬場で走り続けた馬「ハルウララ」。113連敗という記録を打ち立て、その“弱さ”ゆえに国民的アイドルとなった。ひたむきな姿を書き下ろしたノンフィクション。



80代、ご機嫌に生きる人生の耕し方

『今日も明日も新しいことに挑戦！』

著者：ひろちゃん農園

我流の農作業のYouTube配信で人気の「ひろちゃん農園」(高知市)。農園主のひろちゃんは80歳でも体は元気で心も豊か。悩みにも負けない！前向きな考え方や老齡期を楽しむためのヒントが満載！



ご紹介した本が貸出中の場合は、予約ができます。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

2月の休館日

(蔵書点検期間)

1日, 3日, 10日, 16日～20日, 24日, 27日

図書館マメ知識



調べもの相談って何？…みなさんの知りたいこと、調べたいことなどを図書館がお手伝いをするサービスです。「こういう本が読みたい」から「〇〇について知りたい」まで。お気軽にご相談ください。



新しい年になりました。2025年4月～12月の行事を振り返りながら、子ども達の頑張りを見ていきたいと思います。

入学式

4月7日、可愛い小学校一年生、頼もしい中学校一年生の合同入学式があり、新年度「梶原学園」がスタートを切りました。

修学旅行

親元を離れ、学校では決して学ぶことができない貴重な経験や見聞を広めることができました。



この体験を活かして大きく成長してくれている6年生と9年生です。

運動会

明けましておめでとうございませう
本年も宜しく
お願い致します



2学期最初の大きな行事である「梶原学園運動会」が9月13日に行われました。「全員主役」一人一人の物語のテーマのもと、全員が「主人公」として輝く一日になるよう、個人競技、団体競技、応援合戦、ダ



ンス等それぞれの役割を果たすために全力を出し切ってくれました。それぞれが一生懸命に頑張っ、思い出に残る運動会になったと思います。大きな応援・声援をありがとうございました。

梶原町こども未来議会

10月23日に「梶原町こども未来議会」がありました。5年生以上の児童・生徒代表（各学年1名・計5名）が、地域の未来を真剣に考える「議員」として、堂々と大役を果たしてくれました。



ウェルカムコンサート

中学生が、海外研修報告、英語部発表、9年生総合学習発表、合唱コンクール、音楽部演奏の発表をしました。



全員
主役

ここにあげられない行事も沢山ありました。日常の授業に加え、このような行事を通して、子ども達は日々成長しています。

2026年も梶原学園の児童・生徒の素晴らしい成長を、学園教職員全員で見守っていきたいと思っています。よろしく願います。

一部の記事はホームページでも見ることができます。

<http://www.yusunaharagakuen.jp>





栲原こども園だより



新年あけまして

おめでとうございませ

本年もどうぞ

よろしく願いいたします



防火パレード



栲原町の消防団の方々と
♪戸締り用心火の用心♪の曲
に合わせて、拍子木を打ちな
がら、町内を歩きました。皆
さん、火の取り扱いには用心
しましょう。

人権の花

栲原町の人権擁護委員会か
ら、人権の花(ビオラ)を頂き
ました。



3・4・5歳児は、人権擁護
委員さんや竹ぼうきの皆さん
と一緒に、自分達のプランター
にもらった花を植えました。



たくさんビオラの花や笑顔
の花が咲きますように。

チューリップ植えの後に、
6年生とじゃんけん列車
で遊んだよ♪



友達と一緒に、
ハイチーズ♪

小学生と チューリップ植え

5歳児ぞう組が、栲原学園の
小学6年生とチューリップ
植えを通して交流しま
した。4月には新一年生
同士です。お兄さん、お姉
さんに手をつないでもら
って入学式に参加します。

こども園ホームページ



ひよこ組、
お散歩～。
気持ち
いいね♪



おはなし遊び



クリスマス
制作
あそび



2月の行事予定

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 7日(土) 梶原学園学習発表会(小学校) | 14日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デー |
| 8日(日) 梶原消防団・女性消防隊出初式 | 16日(月) 所得申告受付開始 |
| 10日(火) 人権相談・行政相談(10:00~15:00) | 20日(金) 梶原町交通安全の日 |

※行事予定は変更となる可能性があります、ご了承ください。

2月の保健福祉課行事予定

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 2日(月) げらげら家族会 | 12日(木) 東区宅老「えくぼ」 |
| 3日(火) 愛育相談 | 越知面デイサービス友の会 |
| 4日(水) 松原サテライトデイサービス | 13日(金) 西区いきいきふれあい広場(下西の川) |
| 5日(木) 四万川宅老所 | 19日(木) 四万川宅老所 |
| 6日(金) 初瀬いきいきふれあい広場 | 20日(金) 東区いきいきふれあい広場 |
| | 26日(木) 四万川いきいき交流会&四万川健康の集い |

月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。
(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日)……24日(火)、25日(水)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター ☎65-1170までお願いします。



※行事予定は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

広報委員のつぶやき

この号が配布される頃には、新しい町長も仕事に慣れてきている頃でしょうか。

昨年は現代の名工である茅葺き棟梁・川上義範親方が黄綬褒章を受けられ、梶原にとって誇らしい年でした。川上親方のお話で、印象深いエピソードがあります。

「普請は、祭りのようだった。集落の皆が一緒に助け合って茅を拭き、最後には飲んで食べて楽しんだ。これにはお金のやり取りは無かった」

「昭和30年代後半から、地芳道路の工事が始まり、お金を稼ぐことが始まった。儲からない茅刈をする人がいなくなった。茅場は荒れ、それまで成り立っていた『いい(結)』が崩れ始めた」

茅葺きは、共助の象徴でもありました。今では、茅葺きは職人さんにしてもらい、材料は買うものになってしまっています。昔は小さな子どもも、軽い茅束を運ぶなど、できることを手伝いました。また、材料の茅も地元の茅場で、自分たちで刈っていました。川上親方は、茅場も復活させようと取り組んでおられます。

茅葺きと茅採取は、ともに2020ユネスコ無形文化遺産「伝統建築工匠の技(17件)」に含まれます。

古くからの普請のように、自分たちの暮らす家庭、職場、地域、町で、小さな助け合いを増やし、暮らしを守る年になってほしいと思います。

梶原の未来も、今が正念場です。新町長には、決して自分の周りのみへの利益誘導をすることなく、町民全体の気持を盛り上げ、共に町を動かしていく施策を期待したいと思います。



梶原町長選挙 梶原町議会議員補欠選挙結果

任期満了に伴う梶原町長選挙及び議員の辞職に伴う梶原町議会議員補欠選挙を12月7日に行いました。

梶原町長選挙に立候補したのは、届出順にいずれも無所属で元町議会議員の下元秀俊氏と、高橋基文氏の2人で、新人同士の一騎打ちとなりました。今回の選挙では、人口が減少する中で町民の生活基盤の維持、行財政改革、産業振興、太郎川公園再生計画の見直しなどを巡って論戦が繰り広げられました。町長選挙の投票率は81・25%となり、前回（令和3年）の85・01%を3・76%下回る結果となりました。議員の辞職に伴う梶原町議会議員補欠選挙は、定数1人に対し新人の矢野明氏が立候補し、無投票となりました。投票結果は次のとおりです。

【梶原町長選挙】

高橋 基文	1177票
下元 秀俊	897票
当日有権者数	2614人
投票者数	2124人
有効投票数	2074票
無効票	50票
投票率	81・25%

【梶原町議会議員補欠選挙】

矢野 明

文芸

柚子の木俳句会

灯を消して見惚れて歩く寒昴 西村由利子

人々の同じ思いや冬の空 西森誠子

大晦日来年生きる夢さがし 中平忠雄

初日の出草原駆ける親子馬 中越郁子

初日さす津野山舞台の奈落まで 渡辺瑞枝

我もまた兎追ひたり夜半の帰路 吉田敬子

露の世や生れ変われば蛍かな 中越昌一

細雪高倉健は北の人 広瀬卓雄

「人々の同じ思いや冬の空」
雪模様の鉛色の冬空を見上げれば、『被災地の人々、又、戦いの中で暮らす人々』に思いを馳せ、からりと晴れた澄んだ冬空を見上げれば、『一年を無事に過ごせ有難い。来る年も素敵な年に…』と願う。

杉の子俳句会

減反に揺らぐ心や農始 久岡智子

三度目の悲願成就や初日の出 影浦鉄心

初しぐれ杖と傘とを併せ持つ 大崎みなと

雪晴れや峰の風車は威勢よく 下元廣幸

雪虫や俳句の種はポケットに 内野純子

写メ撮って袖重たくてお正月 明神伊佐子

新春の棚田それぞれ射す朝日 西村幸枝

初御空ページのようになが明け 川田早苗

本席のラスト茶会は白椿 掛橋初子

有りのまま在るがままにて去年今年 氏原陽子

食べて寝て起きてまた寝て雪の日々 西村蓉子

「減反に揺らぐ心や農始」
父祖の代から延々と続けてきた米作りです。しかし、そろそろ限界を感じるようになりました。棄て切れぬ思いの夫の背中がより小さく感じられます。

岩本直也氏 地方教育行政功労者表彰受賞

梶原町教育委員を長く務められた岩本直也氏（六丁）が、地方教育行政功労者表彰を受賞され、吉田町長より表彰状が手渡されました。この表彰は、教育委員として11年以上在職し、功労が特に顕著な教育委員会の委員を文部科学大臣が表彰するものです。

岩本氏は、平成24年から梶原町教育委員に任命され、教育委員・教育委員長・教育長職務代理を歴任し、梶原町の教育行政に携わってこられました。0歳から18歳までの発達段階に応じた保幼小中高一貫教育について、研修や、学校訪問、参観日や行事などに積極的に参加し、梶原町の子育て支援、教育の振興を図られました。

社会教育では、子ども達と一緒に学習やスポーツ・文化活動などに携わり、梶原町ならではの地域、家庭、学校が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制「梶原町

学校応援団」の立ち上げに尽力されました。

近年では、同組織の推進委員会において、新しい活動として「ゲートボール教室」を提案いただき、自らも指導者として指揮され、「地域活動部会ゲートボール教室」として子ども達に人気のある活動となっております。

今後も、梶原町の教育行政の推進にお力を貸していただきたいと思います。



受賞された岩本直也氏

生涯学習課

【お知らせ】広告掲載について

広報ゆすはらに、有料広告を出すことが出来ます。詳細は次のとおりです。

【広告内容】

法令等に違反がなく公益上特に支障のないものとします。各種イベント告知、新装開店や求人募集、冠婚葬祭のお礼等を想定しており、政治性又は宗教性のあるものや、社会問題についての主義・主張等は対象外となります。

【広告紙面】

表紙を除く各紙面の一部で、月当たり4枠まで。申し込み多数の場合、町内産業の育成、地場産品の販売促進、観光振興その他の町内地域経済の活性化に資すると判断することができるものを優先し、同率のものについてはくじ引きにより決定します。

【広告掲載料】

- 1号広告 5千円
A4版4段組最下段(全部)
- 2号広告 3千円
A4版4段組最下段(1/2)
- 3号広告 1千円
A4版4段組最下段(1/4)

【その他】

- 掲載希望月前の25日(例) 11月号(11月20日発行)
- メ 切 10月25日

【問合せ】

広報委員会事務局(総務課総務政策係)

発行所/高知県高岡郡梶原町役場

☎0889-65-1111

発行/梶原町役場

編集/梶原町広報編集委員会 印刷所/南中島出版

エコキュートの修理・取替なら

梶原町の

四電エナジーサービス認定 電化のプロショップ

でんのすけショップにおまかせください!



今がチャンス!
最大 25万円

梶原町の補助金を使って、おトクに取替ができます!!

お問い合わせ

電気給湯/エコキュート一筋50年。専門店の品質をご提案します。

四電エナジーサービス株式会社 認定
でんのすけショップ
四国電力グループ
「四電エナジーサービス(株)」の
パートナーショップ

上川電気商会
TEL.0889-65-0480

〒785-0610 高知県高岡郡梶原町梶原1107番地